



かべ新聞 **絆** (きずな) <令和7年1月号>

地域住民同士の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を支援し、
人づくりと地域づくりに貢献します！

打田地区公民館
令和7年1月7日
文責:社会教育指導員
原 寿宏
(電話0736-77-3140)

新年あけましておめでとうございます 気持ちを新たに公民館活動の充実に努めます! ～どきどき、わくわく、ますます公民館がおもしろい!～

新年あけましておめでとうございます。

かべ新聞“絆”は、昨年2月に創刊し本号をもちまして一周年となりました。本紙面を通して、当公民館で共に学ぶ皆さんの笑顔や真剣な眼差しを、より多くの皆様に紹介させていただいているところでありますが、「毎月楽しみにしてるんよ」という嬉しいお声もいただけるようになってまいりました。今後も公民館利用の皆さん同士をつなぐ役割を、この“絆”が果たしていければ幸いです。

他方、令和6年は、「THE 落語(RAKUGO)塾」や「おとなのコーヒープレイク」など、当公民館職員の発意に基づき、今までになかった企画講座の実施や、年間を通しての公民館講座においても、「エンジョイ!ダンス塾」、「入門!楽しい韓国語教室」や「コアチューニング教室」などの新たな講座を開講いたしました。また、障害のある方を対象とした「ウクレレ」や「アート書道」の体験教室では、障害のある方もない方も共に一緒に楽しむことのできる“交流学习”に挑戦しました。

加えて、「子供たちのオアシスになりたい!」を合言葉に、10月から放課後の子供の居場所「スペース“いばしょ”」の開設にも取り組んでいます。

このように、令和6年は当公民館にとって、大きな変革へ礎を築く年だったように思います。

新年を迎え、気持ちを新たにさらなる公民館活動の充実に向け、職員一同、精進してまいりますので、ご期待ください。

♡和やかな交流の場となっています!

「入門!楽しい韓国語教室」受講の皆さんは、李 庭花(イ・ジョンファ)先生のお人柄もあるのだと思いますが、いつも和やかな雰囲気の中で本当に楽しそうに学ばれています。

単に韓国語を学ぶということに留まることなく、韓国そのものを楽しまれているように感じます。また、紀の川市と姉妹都市提携している韓国西帰浦(シゴポ)市から派遣の姜 文珪(カ・ムギ)さんにも、途中から講座に参加していただき、韓国のことについていろいろとお話いただきました。また、韓国料理での交流パーティーを行ったり、12月最後の回には、派遣期間満了となる姜さんへのサプライズの寄せ書きを集めたり、実に楽しく学び交流している皆さんです。7月号で「仲間意識が芽生え、講座終了後に“韓国旅行”という実地研修につながればいいのにな」とつぶやいておいたのですが、現にその方向で何やら相談されているようなことも聞こえてきています。

標題に掲げている、公民館の使命である「地域住民同士の『つどう』『まなぶ』『むすぶ』を支援する」というところに、少し近づけたのではないかと、ほくそ笑んでいます。



♡公民館へ行こうフェア「クリスマスコンサート」♡(12/14・土)

12月の恒例行事として、すっかり定着してまいりました「打田中学校吹奏楽部によるクリスマスコンサート」。今年は、一緒に歌ったり、楽器紹介なども取り入れたりしながら、クリスマスソングを中心に全9曲とアンコール1曲を演奏してくれました。「寒かった心が一気に温まり、気分が明るくなりました」、「素晴らしい演奏で元気をもらいました」など、生徒らへの賞賛の感想が多数寄せられました。他方、生徒たちも、「会場の皆さんが楽しんでくれて嬉しかった」、「部員全員でコンサートを頑張れたことが嬉しいかった」などと大きな達成感があったようです。また、「これをきっかけに公民館の行事に参加させていただこうと思います」という、「行こうフェア」の事業趣旨にドンピシャの感想もいただいたことを大変うれしく思います。



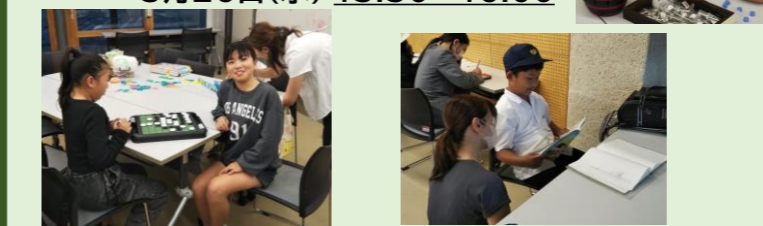
♡「俳句に挑戦!」 優秀作品を発表!♡

11月2日(土)・3日(日)に開催した文化祭において、打田俳句会の事業として初めて実施した「俳句に挑戦!」に、予想を上回る数の俳句が寄せられました。ご応募くださった皆様ありがとうございました。
【優秀作品は右のとおり→】

「一般の部」(応募総数38句)	紀の川市文化協会賞 文化祭喜寿を過ぎての筆習い 西山世利子
紀の川市打田地区公民館長賞 お囃子の響く畦道彼岸花 豊田友香	
打田俳句会賞 里山の稲穂波打つ柵田かな 中西俊彦	
小学生の部(応募総数181句)	紀の川市文化協会賞 七五三おめかしするの赤リッパ 森本ゆすな
紀の川市打田地区公民館長賞 天の川あいをつなぐよいつまでも 出口しんじろう	
打田俳句会賞 せいいつばい走り切ったよ運動会 もりしたはすな	

◆今後の「スペース“いばしょ”」

令和7年 1月22日(水) 15:30~17:00
2月26日(水) 15:30~17:00
3月26日(水) 13:30~16:00



♡「目からウロコの雑学講座⑫(最終回)」(12/18・水)

「誰もが住みやすい社会の実現をめざして～知的・発達障害を疑似体験して理解を深めよう～」をテーマに、大人になってから、当時の勤務先社長から専門医の受診を促され、そこで初めて障害が分かったという 三木将矢さんから、ご自身の体験を通して、発達障害への理解についてお話いただきました。

また、今回が最終回ということで、全12回中9回以上出席された全体の8割を超える25名の方に「修了証(雑学博士号)」を授与させていただきました。皆勤の方も3名おられました。



受講者中、最高齢の森 完爾さん(91)に代表でお受けいただきました。

学習へのますますの意欲を語る森さん



♡「ちぎり絵に挑戦したよ」(12/7・土)

青少年健全育成推進協議会打田支部の取組の一環で、例年この時期、次の年の干支を題材に親子で「ちぎり絵」の制作を行っています。

例年、小学生を中心にきょうだいで参加も多い人気のイベントで、定員を超える32名が参加。なかでも小学生の頃から毎年参加してくれている中学生は、「干支をコンプリートするまで参加したい」と張り切っていました。

でもよくよく考えると、中学卒業までには年数が足りないの、願いを叶える方法は別途考える必要があります☺☺

子供たちは、講師の井尻昌子さん・尾上聡子さんの指導のもと、推進委員さんからのサポートもあり、細かい作業にも集中して取り組み、作品を完成させていました。みんな出来上がりを大変喜んでいました。親子で、また、地域の皆さんとふれあう有意義な時間となりました。(林 国和)

